

決算 報告

一般会計の状況

平成28年度は、「赤平市しごと・ひと・まち創生総合戦略」に基づく人口減少対策に関する施策を最優先として推進するとともに、「第5次赤平市総合計画」に基づく産業振興・少子化対策・住環境

整備の重点プロジェクトを中心とした地域振興に努めました。

歳入決算額 94億7,784万円
(前年度比2億9,775万円減)

主な歳入項目

● 地方交付税(臨時財政対策債を含む) 43億9,196万円

● 繰入金 2億4,319万円

● 歳入金 2億4,319万円

● 繰入金 2億4,319万円

主な歳出項目

● 補助費等 15億4,169万円

28年度の主な事業

① 赤平市しごと・ひと・まち創生総合戦略事業

● 土地購入助成

● 持家住宅建設助成事業補助金

● 高校生以下医療費無料化

● 高校通学費等助成

● ひとり親家庭家賃助成

● ひとり親家庭入学支度助成

● 民間賃貸住宅家賃助成事業補助金

● 普通建設事業

● 地域住宅建設事業

● 墓地施設整備事業

● 草団地除却ほか

● 春日第一団地・新春日団地・若草団地除却ほか

● 春日第一団地・新春日団地・若草団地除却ほか

28年度の主な事業

● 道路新設改良事業

● 西文1条通ほか3路線改良

● 舗装、やすらい通配水整備

● 橋りょう改修事業

● 新成大橋改修、近接目視調査

● 公園施設整備事業

● 桜木町公園・翠光苑改築、独歩苑追遠路・駐車場整備ほか

● 小学校施設整備事業

● 豊里小3階トイレ壁補修、赤間小屋外トイレ撤去

● 総合中学校建設事業

● 総合中学校建設事業

● 総合中学校建設事業

● 総合中学校建設事業

● 総合中学校建設事業

歳入		一般会計	
	区 分	金 額	構成比
自主財源	市 税	8億7,022万円	9.2%
	分担金及び負担金	2,460万円	0.3%
	使用料及び手数料	4億3,637万円	4.6%
	財 産 収 入	8,996万円	0.9%
	寄 附 金	2億 559万円	2.2%
	繰 入 金	2億4,319万円	2.6%
	繰 越 金	3億6,843万円	3.9%
	繰 上 金	1億 381万円	1.1%
	計	23億4,217万円	24.8%
	依存財源	地 方 譲 与 税	5,848万円
利子割交付金		86万円	0.0%
配当割交付金		160万円	0.0%
株式等譲渡所得割交付金		96万円	0.0%
地方消費税交付金		2億1,328万円	2.3%
自動車取得税交付金		1,002万円	0.1%
地方特例交付金		106万円	0.0%
地方交付税		42億 995万円	44.4%
交通安全対策特別交付金		77万円	0.0%
国庫支出金		13億3,569万円	14.1%
道 支 出 金		3億6,109万円	3.8%
市 債		9億4,191万円	9.9%
計		71億3,567万円	75.2%
合 計	94億7,784万円	100%	

歳入総額 94億7,784万円
 歳出総額 91億9,155万円
 差引額 2億8,629万円

特別会計

国民健康保険特別会計	歳 入	18億5,959万円
	歳 出	18億 850万円
	差 引 残 額	5,109万円

後期高齢者医療特別会計	歳 入	2億3,410万円
	歳 出	2億3,357万円
	差 引 残 額	53万円

土地造成事業特別会計	歳 入	146万円
	歳 出	0万円
	差 引 残 額	146万円

下水道事業特別会計	歳 入	5億9,434万円
	歳 出	5億7,954万円
	差 引 残 額	1,480万円

霊園特別会計	歳 入	350万円
	歳 出	349万円
	差 引 残 額	1万円

用地取得特別会計	歳 入	4,532万円
	歳 出	4,532万円
	差 引 残 額	0万円

介護サービス事業特別会計	歳 入	2億7,041万円
	歳 出	2億6,276万円
	差 引 残 額	765万円

介護保険特別会計	歳 入	14億8,204万円
	歳 出	14億4,891万円
	差 引 残 額	3,313万円

基金の状況

	28 年度末現在高
財政調整基金	21億3,361万円
その他特定目的基金	9億1,442万円
合計	30億4,803万円

(参考)市民 1 人あたりの金額

区分	1人あたりの金額
地方交付税額(臨時財政対策債含む)	41万 349円
地方債償還額(借金返済額)	16万9,553円
平成28年度末基金額(貯金額)	28万4,782円
平成28年度末地方債残高(残りの借金)	176万1,767円
平成29年3月31日現在人口	1万 703人

損益計算書 企業会計(水道事業会計)

	金額		金額
営業費用	2億5,731万円	営業収益	2億6,812万円
営業外費用	2,541万円	営業外収益	6,830万円
特別損失	1,562万円	特別利益	
計	2億9,834万円	計	3億3,642万円
		当年度純利益	3,808万円

貸借対照表

	金額		金額
(資産の部)		(負債の部)	
固定資産	23億2,519万円	固定負債	11億 692万円
流動資産	5億4,271万円	流動負債	8,843万円
		繰延収益	4億4,202万円
		(資本の部)	
		資本金	3億2,876万円
		剰余金	9億 177万円
計	28億6,790万円	計	28億6,790万円

損益計算書 企業会計(病院事業会計)

	金額		金額
医業費用	20億4,083万円	医業収益	18億1,664万円
医業外費用	1億1,006万円	医業外収益	3億8,324万円
特別損失	76万円	特別利益	3,581万円
計	21億5,165万円	計	22億3,569万円
		当年度純利益	8,404万円

貸借対照表

	金額		金額
(資産の部)		(負債の部)	
固定資産	58億4,434万円	固定負債	54億4,177万円
流動資産	11億3,378万円	流動負債	3億8,825万円
		繰延収益	6億1,239万円
		(資本の部)	
		資本金	21億 170万円
		剰余金	▲15億6,599万円
計	69億7,812万円	計	69億7,812万円

● 入院収益 9,222万円増
 患者 延4万4,511人(57人減)
 1日平均111人

● 外来収益 2,067万円減
 患者 延7万6,367人
 (5,964人減)
 1日平均314人

● 一連の病棟建替え事業が最終段階となる「病棟跡地外構整備工事」が完了。また、電子カルテの本格稼働や、「そらねっと(中空知地域医療連携ネットワークシステム)」がスタートし診療・患者サービスの提供体制が一定の整備を完了する年となりました。

病院事業会計

歳出(款別) 一般会計

区分	金額	構成比
議会費	6,611万円	0.7%
総務費	7億1,690万円	7.8%
民生費	20億2,340万円	22.0%
衛生費	3億9,761万円	4.3%
労働費	375万円	0.0%
農林水産業費	1億2,509万円	1.4%
商工費	1億6,461万円	1.8%
土木費	9億6,443万円	10.5%
消防費	3億6,739万円	4.0%
教育費	6億1,810万円	6.7%
公債費	9億1,405万円	10.0%
諸支出費	15億2,055万円	16.6%
職員給与費	10億9,645万円	11.9%
災害復旧費	2億1,311万円	2.3%
合計	91億9,155万円	100%

歳出(性質別)

区分	金額	構成比
人件費	11億7,469万円	12.8%
物件費	9億2,751万円	10.1%
補助費等	15億4,169万円	16.8%
扶助費	14億8,097万円	16.1%
投資的経費	13億 299万円	14.1%
維持補修費	2億6,652万円	2.9%
公債費	9億1,405万円	9.9%
積立金	3億5,010万円	3.8%
投資及び出資金	2億2,129万円	2.4%
貸付金	4,096万円	0.5%
繰出金	9億7,078万円	10.6%
合計	91億9,155万円	100%

28年度末現在 地方債の状況

区分	未償還元金
一般会計	94億8,599万円
総務債	1億6,594万円
保健衛生債	1,822万円
農林水産業債	9,158万円
土木債	8,144万円
公営住宅債	28億8,594万円
消防債	7億6,310万円
教育債	1億6,838万円
災害復旧債	1億2,999万円
道借入金	2,496万円
過疎対策事業債	21億3,588万円
減収補てん債	161万円
臨時財政特例債	39万円
公共施設水洗化事業債	62万円
減税補てん債	4,998万円
臨時税収補てん債	862万円
財源対策債	4,486万円
臨時財政対策債	28億4,886万円
地域再生	404万円
退職手当	5,948万円
一般会計出資	210万円
特別会計	40億 392万円
下水道事業債	37億2,245万円
災害復旧債(下水道)	38万円
災害復旧債(霊園)	40万円
公共用地先行取得事業債	2億8,069万円
水道事業会計	11億2,283万円
病院事業会計	42億4,346万円
合計	188億5,620万円

健全化の比率

平成28年度決算

28年度 健全 赤平市

平成27年度	—
平成28年度	—
早期健全化基準	15.0%
財政再生基準	20.0%

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定により、平成28年度決算に基づく健全化判断比率と資金不足比率を公表します。

平成28年度決算においても財政健全段階を維持しました。

健全化判断比率

① 実質赤字比率

【一般会計などの赤字額÷標準財政規模】

一般会計など税金を主な収入源とする会計の収支を見るもので、赤字の場合にこの比率が発生します。平成28年度では一般会計などで黒字となったことから、この比率は発生しません。

② 連結実質赤字比率

【一般会計など・特別会計・公営企業会計による赤平市すべての会計の赤字額÷標準財政規模】

まちの全会計の収支（黒字・赤字）を足し合わせて、最終的に赤字か黒字かを見るものです。平成28年度では全ての会計で黒字となったことから、この比率は発生しません。

28年度 健全 赤平市

平成27年度	—
平成28年度	—
早期健全化基準	20.0%
財政再生基準	30.0%

③ 実質公債費比率

【公債費（借金の返済）にどのくらい支払っているか】

年の支出に占める借金返済額の割合です。この比率が高いとほかの行政サービスに支出した割合が小さいこととなります。

28年度 健全 赤平市

平成27年度	18.8%
平成28年度	17.6%
早期健全化基準	25.0%
財政再生基準	35.0%

④ 将来負担比率

【今後どのくらいの負担が見込まれるか（第3セクター含む）】

まちの借金の今後の返済見込額が、貯金や収入見込額に対してどのくらいの割合なのかを見るものです。

28年度 健全 赤平市

平成27年度	118.3%
平成28年度	116.2%
早期健全化基準	350.0%
財政再生基準	なし

資金不足比率

【資金不足額÷営業収益】

平成28年度では左記会計のいずれも資金不足はないため、この比率は発生しません。

28年度 健全 赤平市

	水道事業会計	病院事業会計	土地造成事業特別会計	下水道事業特別会計
平成27年度	—	—	—	—
平成28年度	—	—	—	—
経営健全化基準	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%

秋季住民懇談会

秋の住民懇談会を開催します。来年度予算に反映する地域要望を中心に意見交換を行います。ぜひご参加ください。



菊島市長

日程	会場	
10月16日(月)	平岸高齢者コミセン	茂尻新町集会所
10月17日(火)	幸町町内会館	文京生活館
10月19日(木)	日の出地区集会所	百戸コミセン
10月20日(金)	茂尻生活館	泉町会館
10月24日(火)	豊丘地区集会所	豊里ふるさと会館
10月25日(水)	ほろおか交流センター	福栄地区集会所※
10月31日(火)	交流センターみらい	若木生活館

開催時間 18時30分から ※福栄地区集会所のみ16時から
上記のとおり地区別で開催しますが、お住まいの地区と異なる会場に参加されてもかまいません。